

その他メモ	自動失敗 チェック
ミクマル。悪を斬る「正義の刃」を名乗る冒険者。本人は、自らのことを「剣豪見習い」と称している。	☐ ☐ ☐ ☐ ⑤
本名は、ミクシア・ローレイ。市井に降りたエルフと、そのエルフに惚れた青年との間に生まれた人間とエルフのハーフである。	☐ ☐ ☐ ☐ ⑩
ミクシアの家は結構裕福であったから、ミクシアの家には大きめの書架があった。	☐ ☐ ☐ ☐ ⑮
ミクシアにとって、そこは自分の想像と妄想を爆発させる、工房やキャンパスに等しかった。	☐ ☐ ☐ ☐ ⑳
そこでミクシアは、様々な英雄になった。	☐ ☐ ☐ ☐ ㉕
「さくらはながいつかちるのをみてみぬふりしてただまつひびは、はながちるよりさらにむいみなものにてござる！」	☐ ☐ ☐ ☐ ㉙
時には幼馴染を救うため、悪代官の居城に殴りこむ剣士。	☐ ☐ ☐ ☐ ㉚
「また、つまらぬものをきてしまいに・・・ござる。」	☐ ☐ ☐ ☐ ㉞
圧倒的な強さで敵をぶった斬るも、その喜びの余韻に浸ることもなくニヒルに笑う剣豪。	☐ ☐ ☐ ☐ ㊱
初めは大好きな小説の一小節の再現。ミクシアが大好きな刀を使うキャラを自分で真似をする。ミクシアにとってそのひとは、至福であっ	☐ ☐ ☐ ☐ ㊳

[illegible][illegible]